

JAふくしま未来

2018 JAN Vol.23

未来への心をつなぐパートナー
～農をはぐくみ 地域をつなぐ～

みらい



JAふくしま未来
広報誌 1月号



JAふくしま未来



JAグループ

耕そう、大地と地域のみらい。

『未来への心をつなぐパートナー』 “農をはぐくみ 地域をつなぐ”

「生業と暮らしに寄り添った創造的自己改革」



代表理事組合長
菅野 孝志

輝かしい新年を迎えられましたことに心よりお祝いを申し上げます。

本年も組合員・利用者、地域の皆様方に寄り添い、役職員の総力を以て組織事業運営に邁進してまいりますので宜しくお願い申し上げます。

JAふくしま未来は、我らJAグループ福島の「食と緑と水を守り豊かな自然・環境・景観・国土を育み、みんなが喜んで農業生産活動を通じ暮らすことのできる」心豊かな誇れる福島を目指した平成27年第39回JA福島県大会の基本方針「新生JAの合併事業計画の着実な実践」に基づき、平成28年3月に誕生し、間もなく2年が経過いたします。①消費者と共生する「安全安心なふくしまの農業」の復興と農業所得の増大、②「安心して暮らせる地域社会の実現」への貢献、③組合員・利用者の「営農と暮らしを守る協同組合」の機能強化、を進めるとともに「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」の確立に向け心一つにして「未来への心をつなぐ パートナー」を農をはぐくみ 地域をつなぐ」ために

新春を彩る植物の「松竹梅」。松と竹は常緑樹の代表です。昔の人はその葉に永遠の命や若さを感じ、お正月の門松はそれに由来しています。

1月20日ごろは、1年のうちでもっとも寒さが厳しい時期と言われる大寒です。一方、太陽は少しずつ力強さを増し、生き物たちは敏感に春の気配を感じ取り、目覚めの準備を始めます。

「冬来たりなば春遠からじ」という言葉があります。今は不況な状況であっても、じっと耐え忍んでいれば、いずれ幸せが巡ってくるという意味です。寒く厳しい冬が過ぎれば、暖かい春はもう目前。しっかりと畑の準備をして幸せな春を迎えましょう。

力強いご支援を頂いてまいりました。御礼を申し上げます。

顧みますと昨年は、恒常化しつつある異常気象の中で、8月の雨、9月以降の雨と台風などにより、水稲をはじめとする桃・きゅうり・野菜・花卉・畜産等すべての農業生産活動が大きな影響を受けました。農畜産物販売高は計画を割り込む厳しい状況にあります。皆さんと力合わせ知恵を出し合い全天候型の基盤の整備により「農業所得の増大と生産拡大さらに活力ある地域社会づくり」に邁進してまいります。

東日本大震災・原発事故から6年10か月。風評被害も少しずつ和らぎはじめておりますが、米・牛肉・桃などでは未だに改善されず、平成29年4月、国・県・JAによる風評被害払拭対策協議会を設立し、流通・消費・生産の分野への対策を講じたところでありました。これらを受け、引き続き多様な販売促進と農産物のモニタリング検査、さらにコメの全量全袋検査（見直しも予測される中）についても、皆様方のご協力とご支援を心よりお願い申し上げます。

昨年は、農産物直売所「こらんしよ市」二本松店のリニューアルオープンや、16名の「農の達人」の委嘱、関係12市町村との地域見守り活動に関する協力協定の締結などのほか、7月1日の国際協同組合デーに因んで、生活協同組合コープふくしまの仲介により福岡県の生活協同組合「エフコープ」と大分県の「コープおおいだ」と友好協定を締結させて頂きました。7月5日に

発生した九州北部災害に対しては、直ちに救済物資を送るとともにお見舞いをさせて頂きました。両生協とも私どもの桃・りんご・あんぼ柿の他、ジュースなど6次化商品の、組合員への提供にご尽力頂き、毎年取扱量を拡大して頂いております。11月には「みらいろ女子会」も駆けつけ交流し今後の互いの交流を誓い合ったところであります。

昨今の農業・農村・JAを取り巻く情勢は、農業競争力強化関連法案成立・種子法の廃止・TPP11・HEU EPA・規制改革推進会議からの中央卸売市場法の改悪（受託拒否禁止の撤廃・市場開設の自由化等）への動きなど、日本農業を崩壊させるような施策が次々と出される異常な状況にあります。

今こそ、将来の地域農業の担い手の育成や農地の生産性を高め、みんなが農業や農村やJAを「良いな」と言い切れるために「生業と暮らしに寄り添った創造的自己改革」を進めてまいります。いわゆる「生業と暮らし」の中心にある「農業・農村・JA・女性が輝く」の実現であります。農業協同組合としての果たすべき役割と使命を深く認識し、コンプライアンス対策の強化と合わせ、全ての課題や問題の解決策は現場にあるが故に「聴いて 見て 考え 夢見て 成し遂げる」に取り組んでまいります。

結びに、本年が穏やかで素晴らしい年になりますことと、組合員・利用者・地域の皆様方にとって幸せ多き年となりますようご祈念申し上げます。

もくじ

- 02…みらいろ歳時記
- 03…新年のごあいさつ 代表理事組合長 菅野 孝志
- 04…ニュース
- 06…特集 今年は「戌年」！わが家のワンコ紹介します！
- 08…みらいろトピックス
福島地区、伊達地区、安達地区、そうま地区
- 16…気の向くままに散歩道 おでかけ みらいろード
- 18…所得アップ実践農家の取り組みを紹介 農業者人
- 20…新規就農応援セミナー 特集
- 22…地域の営農集団紹介
- 24…JAの農業振興支援事業を活用 農業所得アップ優良事例紹介
- 25…輝きを未来へ 相馬農業高校
- 26…女性部活動紹介
- 28…ベジフルみらいろキッチン
- 29…元気にすくすく みらいっ子
- 30…よくわかる福大農学系学部設置について
- 31…今月のおすすめ商品
- 32…みらいろ作品展
- 34…健康コラム
- 35…JAからのお知らせ
- 40…農のある風景



エレベーターと一緒に乗ったことを後悔する桃之介(左)と米之介



「きゅうり之介」お疲れ様です…

【表紙のウラ話】

今回の表紙はみんな大好き(?)「みらいろ4兄弟」です！可愛いですね。本店の2階で“準備”を終えた彼らは、エレベーターに乗って1階へ。エレベーターがとても狭そうでした。本店前での撮影中は、注目の！職員も、直売所にお買い物に来たお客さんも様子をチラチラ。彼らも注目されるのが楽しくて、テンション高めでした。

撮影を終えて、本店に戻っていく猫背な「きゅうり之介」の後ろ姿が、なんとも言えない哀愁が漂っていて…仕事で疲れ切ったサラリーマンの様でした。

皆さんありがとうございました～！

NEWS 1

あんぼ柿共販推進会議
有利販売に向け情報共有



▲想いを述べる宍戸部会長

当JAは12月5日、平成29年度あんぼ柿共販推進会議を伊達市のみらいホールラブルで開きました。JAでは今年度、昨年対比126%の990tの出荷を計画。会議では計画出荷及び需要期出荷による有利販売の確立や、市場へ正確な産地情報を発信していく方針を確認しました。今後、1月末にかけて消費宣伝活動も行い、あんぼ柿のPRを各地で実施します。加工再開5年目を迎えた今年度は、福島市・伊達市・桑折町・国

見町の2市2町全域が「加工再開モデル地区」に指定され、前年以上の出荷が見込める体制づくりが進んでいます。また、加工期間の天候に恵まれたことで柿の乾燥状態も良好で、生産者やJAは昨年以上の出荷量を期待しています。会議には、県や市場、JAなどから約80人が出席しました。あんぼ柿生産部の宍戸部会長は「産地の完全復活に向けて環境が整ってきた。今年は震災前の水準の90%を目指し、着実に歩みを進めたい」と話しました。



▲真剣な面持ちで方針を確認する出席者

NEWS 2

プロ野球7年
が技術指導



▲47年会の稲葉篤紀会長から指導を受ける児童

当JAとJA共済連福島は12月3日、地域貢献活動の一環でプロ野球47年会野球教室をJA福島ビル敷地内のグラウンドで開き、管内の小学生軟式野球チーム12チームが参加しました。児童たちは元プロの選手15人にバッティングや守備、ピッチングなどを教わり、また、フリーバッティングなどで交流を深めました。参加した児童は「学んだことを練習に生かし、プロ野球選手になれるよう頑張りたい」と話していました。

NEWS 3

次期経営組織体制
経営基盤強化へ

次期経営組織体制（平成31年度）にかかる答申書が12月11日、菊田透経営組織体制審議委員長から菅野孝志組合長へ手交されました。経営組織体制審議委員会は菅野組合長より諮問された、組合員の確かな意思反映や運営参加が今期以上に実現できる経営組織体制の実現に向け、さらなる経営基盤の強化や役員体制などについて審議を慎重に行っていました。答申を受けた菅野組合長は「答申を基に組織協議を実施し万全な次期体制の確立を目指したい」と述べました。



▲菊田委員長(左から3番目)から答申書が手交された菅野組合長(右から4番目)

NEWS 4

清流くるみ会
よみがえれ里山の景観



▲ホタルの幼虫を放流する会員

福島市上山口地域の環境保全団体「清流くるみ会」は12月3日、毎年恒例の胡桃川の清掃を行いました。今年、福島市の事業を活用してホタルの幼虫とカワニナも放流。来年の初夏にはホタルが舞う予定で、会員らは昔のような景観が戻ることを期待しています。同会は平成7年に設立しました。福島市の東部から阿武隈川へと流れる準用河川の胡桃川を蘇らせるための清掃活動や、川沿いの東屋建設による地域のコミュニティの場づくりなどを行っています。活動が認められ平成26年には環

境省の地域環境保全功労者表彰を受賞。旧JA新ふくしまでは環境保全等活動団体にも認定されています。23回目となる今回の川清掃には、会員など30人が参加しました。今年は大雨の影響で、例年より川に流れ込んだゴミが多く、会員は下流域を中心に手分けしてそれらを拾い集めました。ゴミ拾いの後にはゲンジボタルの幼虫とエサとなるカワニナを放流しました。同会代表の鈴木武雄さんは「昔のようにホタルが幻想的に舞う里山に戻って欲しい」と話しました。

NEWS 5

おいしいお米コンクール
管内一の米決まる！

当JA管内で栽培された米のイチバンを決める「おいしいお米コンクール」を12月11日、北信支店で開きました。福島、伊達、安達、そうまの4地区から出品された「コシヒカリ」「ひとめぼれ」「天のつぶ」を食味審査し、総合の部最優秀賞は安達地区のあだたらドリームアグリ(株)の「天のつぶ」に決まりました。同コンクールは高品質、良食味米生産の技術確立やブランド確立を目的に今年初めて開きました。



▲入賞した生産者の皆さん

各地区の予選会を通過した「コシヒカリ」4点、「ひとめぼれ」2点、「天のつぶ」4点が出品され、審査のJA役員や生産者、関係者ら約30人が炊き立てのご飯の香りや味、粘りなどを評価しました。最優秀賞に輝いたあだたらドリームアグリ(株)の古川沙織さんは「一番に選ばれるとは思ってもみなかった。とても嬉しい」と喜んでいました。総合の部最優秀賞以外の入賞者は次の通りです。
【「コシヒカリ」の部】
最優秀賞 武田藤男さん(安達地区)
優秀賞 平野和衛さん(福島地区)、小賀坂義行さん(伊達地区)、佐藤徹広さん(そうま地区)
【「ひとめぼれ」の部】
最優秀賞 菅野勝彦さん(福島地区)
優秀賞 武島竜太さん(そうま地区)
【「天のつぶ」の部】
最優秀賞 佐藤徹広さん(そうま地区)、優秀賞 大波康良さん(福島地区)、佐藤政徳さん(伊達地区)



チビくん

犬種:柴犬
 年齢:13歳
 特技:大人しく、人なつこい
 飼い主名:柚井 義次様
 JAへのひとこと:今まで通りのサービスを続けてほしい

犬種:秋田犬
 年齢:3歳6ヶ月
 特技:家族を守ってくれる
 飼い主名:遠藤 伝栄様

はなこちゃん



風くん



犬種:秋田犬
 年齢:1歳
 特技:ボールで遊ぶのが大好き
 飼い主名:渡辺 友子様

クロちゃん

犬種:カニヘンダックスフンド
 年齢:14歳
 特技:成一さんと一緒にお風呂に入ります。甘いものが好き!(特におまんじゅう♥)
 飼い主名:阿部 成一様



JAへのひとこと:農振会での組合員数が減って、地域の横のつながりが難しくなってきた。座談会の様な他の農振会と交流できる場を、JA主導でもっと作って欲しい。(農繁期だと参加できない時もあるので)

ジョン子くん



犬種:ダルメシアン
 年齢:2歳7ヶ月
 特技:脱走が得意の暴れん坊!
 飼い主名:高橋 文治様

犬種:柴犬
 年齢:3歳
 特技:ご飯を食べるときお手をする
 飼い主名:栢窪 俊市様



ころんくん

クッキーくん



犬種:トイ・プードル
 年齢:4歳
 特技:とにかく吠えない
 飼い主名:武田 彩伽様



今年は「戌年」!

我が家のワンコを紹介します!



犬種:バーニーズマウンテンドッグ
 年齢:7歳
 特技:犬小屋の屋根の上に乗ってのんびり日向ぼっこしながら、近所の猫やずめ達が自分の残した餌を食べに来るのを見守ること。
 飼い主名:小泉 英明様

パンチくん

犬種:ミニチュアダックスフンドワイヤー、ミニチュアダックスフンドスムース
 年齢:サンタ7歳、ポポ3歳
 特技:太り気味でちょっと人見知りだけど、とても元気いっぱい優しいです。サンタくんがポポくんのお父さんです。
 飼い主名:原田 武明様

サンタくん、ポポくん



アナちゃん&エルサちゃん



犬種:雑種
 年齢:4歳
 特技:豚小屋で飼っているため、豚と仲良くできる。甘いものと煎餅が好き。
 飼い主名:渡辺 龍一様 孫・大馳君
 JAへのひとこと:何十年もお世話になっていて、細かいところまで配慮してもらって感謝しています。

モアちゃん



犬種:パピヨン
 年齢:4歳
 特技:とても人懐く、好奇心旺盛。ささみガムがおやつで大好き!
 飼い主名:但野 繁様



犬種:パグ
 年齢:母親11歳、こども9歳
 特技:仲良し親子です。ごはんとおやつのは順番が決まっているので順番を守り、自分の順番がくるまで「待て」が出来ること
 飼い主名:太田 広昭様

母親 ブルちゃん、子供 こたつ、こりき、こむすび、あけび、まつり

犬種:柴犬
 年齢:5歳
 特技:人見知りをしないこと
 飼い主名:安田 喜博様

ペコちゃん



キングくん

犬種:ポインター
 年齢:10歳
 特技:猟の時に、キジや山ドリを追い出すのが上手です
 飼い主名:渡辺 政美様
 JAへひとこと:もっと組合員に密着したJAになって欲しい。



犬種:フレンチブル
 年齢:10歳
 特技:普通の犬(雄)は、足を上げてオシッコをしますが、光太郎は、手を上げてオシッコをします。
 飼い主名:横山 光衛様

光太郎くん





趣向凝らして 美味しさPR

ふくしまかわまた米コンテスト

福島大学小山良太ゼミナールの学生などは11月23日、第3回ふくしま・かわまた米コンテストを福島市のアオウゼで開催しました。同コンテストでは食味計・穀粒判別機・味度計にかけて選別された管内の米、上位10点を審査員が食味審査しました。また、一般来場者も出品米の試食や一位予想投票、卵かけご飯の振る舞いを楽しむことができ、消費者に地元のお米の美味しさを存分に体感してもらえる機会になりました。

同コンテストで1位になった平野和衛さんの米は、当JAのおいしいお米コンクールにも出品されました。



▲出品米の試食を求める行列

販売通して地元 の農業知る

東湯野小学校りんご販売体験

福島市立東湯野小学校の児童が12月5日、当JAの農産物直売所「ここら」矢野目店前でりんご販売を行いました。

東湯野小では地元を理解を深めるため、学校近くの畑でりんごを栽培しています。児童達は生産者と一緒に、春の花粉交配から、摘果、葉取り、収穫の一連の作業を行いました。

直売所での販売には8人が参加。りんごの帽子を被りながら「おいしいりんごはいかがですか」と来店客に元氣よく呼びかけ、手書きのメッセージ入りりんごを販売しました。



▲お客さんの注文を聞く児童

斉藤ヤスさんに 感謝状

年金友の会長寿祝い

福島市仁井田の斉藤ヤスさんが12月2日に100歳の誕生日を迎えました。当JA福島地区の福島南支店は11月29日、長寿祝いをグループホームあったかいご方木田で行い、永澤信弘地区担当常務と西沢政邦支店長が訪問しました。

カラオケや民謡、ハーモニカや習字など多趣味だったヤスさん。ご家族の皆さんは「風邪をひかないよう、気を付けて欲しいです」と話してい



▲永澤常務から感謝状を受け取るヤスさん

岩手でグルメを 満喫！

川俣・山木屋・飯野支店 企画「味覚友の会」

川俣・山木屋・飯野支店の合同企画で11月26日から27日にかけて味覚友の会の旅行を実施し、組合員など32人が岩手方面へ向かいました。

味覚友の会の名前の通り、参加者は盛岡のわんこそばや大船渡での三陸海の幸などを満喫。わんこそばは男性が最高で60杯、女性が61杯を完食しました。また、日本三大鍾乳洞の龍泉洞や浄土ヶ浜、中尊寺などの



▲テーブルに高く積み上がったお椀

簡単メニューで おもてなし

アグリカレッジ料理コース



▲鶏肉の下ごしらえをする参加者

第4回アグリカレッジ料理コースの講座を12月5日、北信支店で開催しました。「簡単にできるごちそうメニュー」として、「チキンのオレンジジュース煮」や「ニョッキホワイトソース和え」など4品を調理。ホワイトソースは小麦粉ではなく米粉を使用しました。

ニョッキを初めて作った受講生が多く「手間がかかるけど初めてで楽しかった」「孫と一緒にやったらいいかも」など感想を話しました。講師からは上品に見える盛り付けの仕方なども習い、いつもの料理がごちそうにランクアップするコツを学びました。

ました。

健康体操で 身体ぽかぽか

大波行ってみね会



▲講師に合わせて身体を動かす参加者

福島東部支店は12月9日、第5回大波行ってみね会を大波地区活性化センターで開催しました。同地

交通安全 呼びかける

福島明成高校交通安全教室

自転車交通安全教室を12月8日、福島県立福島明成高校で開きました。1、2年生470人がスタントマンチームによる交通事故再現を間近で見学し、身近に潜む危険を認識しました。

同教室はJA共済の地域貢献活動の一環で、同校で開催するのは今回が初めて。校庭に道路を再現し、シャドースタントチームの皆さんが、交差点での衝突事故や違反運転による



▲事故再現に釘付けの生徒たち

自然が生んだ 芸術作品

ハボタンに霜降りる

福島市水保地域の後藤喜代子さんの畑で11月22日早朝、栽培しているハボタンに霜が降り、花が咲いたように見える現象が起こりました。喜代子さんにとってこのような現象は6年以上ハボタンを栽培して初めて。実は、ハウスのビニールをかけたことが原因ということですが、「綺麗だから絶対に写真撮って！」と息子さんに懇願しました。



▲花のように見えるハボタン

自宅には大きく引き伸ばした写真を飾ってあるとのこと。喜代子さんは「本当に花が咲いていると思う。自然はこんな芸術作品を生むのかと驚いた」と話していました。

域の組合員など32人が参加し、健康体操で身体を動かしながら参加者同士で楽しい時間を過ごしました。

大波行ってみね会は今年で6年目。震災後の地域活性化の取り組みの一つとして実施しています。今回は「簡単な健康体操と健康管理」をテーマに、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）のテストやJAで普及させているレインボータン操などを学びました。参加した方は「運動して体が温まった。勉強になったのでまた開催して欲しい」と話していました。

接触事故などのスタントを再現しました。生徒の皆さんは「危ない！」「ギャー」などの叫声をあげながら険しい表情で実演を見つめ、普段の運転を振り返りながら危険を認識している様子でした。

蜂屋柿のあんぽ柿目揃え会を12月12日、梁川営農センターで行いました。あんぽ柿生産部会役員や共選場の選果人など約30人が出席し、高品質なあんぽ柿の出荷に向けて規格を確認しました。

今回の目揃え会は今年度から当JAで取り組む「農の達人」制度を活用し、規格説明は農の達人の宍戸里司部会長が務めました。宍



▲規格を説明する宍戸部会長④



▲目揃え会の参加者

農の達人に出荷規格学ぶ あんぽ柿目揃え会

戸部会長は現物を手に取りながら「箱やトレーごとにあんぽ柿の色を統一してください」と出席者に呼びかけました。

その後、同様の目揃え会を伊達地区内の6ヶ所で開催し、生産者全体で規格を統一しました。

「農の達人」制度とは長年の経験や知識、技術を持つ中核農家を、JAの作物別営農技術員として委嘱する取り組みです。



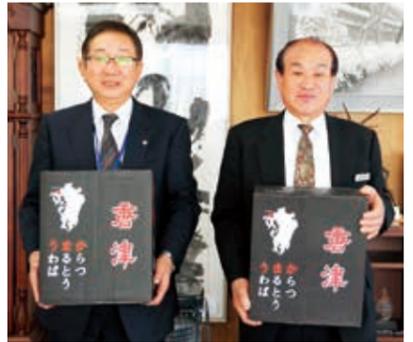
▲住職による迫力ある演唱

森羅万象からの「声」を聴く 鎮魂コンサート「声明」

仏教の法話と演唱に親しむ鎮魂コンサート「声明」を11月28日に伊達市のみらい斎場ほばらで開き、組合員や利用者など100人が来場しました。

会場では保原町円福寺の石井祐聖住職による法話と住職19人による演唱が「供養の調べ」「祈願の響き」「鎮魂の調べ」の3部構成で披露され、来場者は普段はあまり聴けないコンサートに耳を傾け、心を鎮めていました。

あんぽ柿生産者を応援 東京シテイ青果みかん贈呈式



▲贈呈されたみかんを受け取る萩原常務④ 舟山本部長

伊達地区本部で12月4日、東京シテイ青果(株)がみかん贈呈式を行いました。

今回の贈呈式は、当JAが平成28年度に約125tのあんぽ柿を東京シテイ青果へ出荷したことへの感謝と、現在も続く風評被害と闘い続けるあんぽ柿生産者の応援のために実施されました。

式では合計1000箱(1箱5kg)が東京シテイ青果から萩原嘉昭地区担当常務と舟山悦雄伊達地区本部長に贈呈され、萩原常務は「これからも精一杯頑張ってください」と述べました。みかんはあんぽ柿部会会員744人に配布しました。

万が一に備えて 伊達地区本部防災訓練実施

伊達地区本部は12月7日、毎年恒例の防災訓練を実施し職員約50人が参加しました。防火訓練・避難訓練を行い、防災への意識を高めました。

今回の訓練は地区本部から出火した想定で行い、避難訓練後には実際に消火器を使用した消火訓練も行いました。また、実際に煙を充満させた部屋に入り、火災時の状況を体験する煙体験も行いました。



▲消火訓練を行う職員

剪定のポイント を伝授 シャインマスカット剪定講習会

「農の達人」のポイントを教わるシャインマスカット剪定講習会を12月18日、伊達市上保原の園地で行いました。生産者約50人が参加し、実演を見ながら剪定のポイントを学びました。

「農の達人」である山田俊一郎さんは講習会で、山梨県に研修に行つて学んだ剪定方法や長年の生産の中で身に付けた技能を説明しました。様々な栽培方法の中でも比較的取り組みやすい「ロケット式」一文字整枝」と呼ばれる法則性に基づいた剪定方法を紹介。今後のより一層の高品質なシャインマスカット栽培に向け、生産者間で意識を共有しました。



▲参加者が見つめる中剪定する山田さん

きゅうり出荷強化・拡大へ 梁川支部優良出荷者表彰

伊達地区きゅうり生産部会梁川支部は12月7日、梁川総合支店で栽培出荷反省会と通常総会を行い80人が参加しました。優良出荷者表彰を行い生産者15人を表彰しました。

同支部では、産地の維持・拡大や生産者の所得向上を目指し、JAの農業振興支援事業や既存のきゅうり選別機の活用による生産量アップを呼びかけてきました。

表彰式では、萩原嘉昭地区担当常務や橋一郎支部長などが、表彰状と記念品を授与。橋支部長は「来年度も一人でも多くの生産者が受賞することが出来るようにしていきたい」と話しました。



▲表彰される渡辺健吾さん④

松原シズエさん に感謝状 年金友の会長寿祝い

伊達郡桑折町の松原シズエさんが12月11日に100歳の誕生日を迎えました。伊達地区本部の舟山悦雄地区本部長と年金友の会半田支部の早田與喜治支部長、半田支店の高橋智洋支店長は同日、シズエさんの自宅を訪れ、感謝状と記念品の贈呈を行いました。

何でも食べるといふシズエさんが特に好きな食べ物は柿とお肉です。長寿の秘訣は「孫やひ孫、地域の子どもたちと会うこと」と話していました。



▲感謝状を喜ぶシズエさん



最優秀賞に武田さん

安達地区おいしいお米コンクール

安達地区本部は11月29日、同地区本部でおいしいお米コンクールの最終審査と表彰式を開き、最優秀賞に武田藤男さんが出品した特別栽培「コシヒカリ」を選びました。同コンクールは高品質、良食味米の生産技術向上やブランド確立が目的。入賞者を「お米の達人」に認定し、入賞した米を「お米の達人米」として販売しています。また、今回は12月に本店主催のお米コンクールの予選も兼ねて実施。今年は「コシヒカリ」60点、「天のつぶ」6点の応募がありました。



▲最優秀賞に輝いた武田さん（前列左から2番目）と入賞者の皆さん



▲審査する菅野常務④

第1次審査は穀粒判別機と食味分析計を使い、上位30点まで絞り、第2次審査はJA全農福島農業技術センターに依頼し、玄米品質と食味値を分析。最終審査は菅野徳一郎同地区担当常務や関係者が審査員として第2次審査を通過した上位5点の食味審査を実施。香りや粘りなど5項目を評価しました。表彰式では菅野常務が入賞者に表彰状や「お米の達人」の認定証を手渡しました。

最優秀賞を獲得した武田さんは「最優秀賞に選ばれてとても嬉しい。来年もおいしい米作りをしていきたい」と笑顔で話しました。

リースやお正月飾りに挑戦

ちびっこ農業大学

安達地区は12月10日に北東部会場、17日に南部会場と第5回ちびっこ農業大学を開きました。北東部会場はラポートあだちで開き、受講生15人が参加。クリスマスリース作りと米粉ピザ作りを行いました。クリスマスリース作りでは紙皿を輪っかのようにくり抜き、色紙やリボンなどで飾り付けてオリジナル作品を完成させました。米粉ピザ作りではハムやチーズ、玉ネギなどをトッピングし、焼き上がったピザはお昼に皆で和気あいあいと味わいました。



▲北東部会場の皆さん



▲南部会場の皆さん

南部会場は大玉村環境改善センターで開き、受講生約40人が参加。お正月用の輪飾りと第4回目で収穫したお米でにぎり作りを行いました。児童たちは椿や梅、折り紙で作った鶴などを使い一生懸命輪飾りを作り、個性豊かな作品に仕上げていました。最後には手作りのおにぎりや職員が用意したポトフなどを堪能しました。

講座終了後には、各会場閉校式を行い、菅野徳一郎安達地区担当常務が修了証書を受講生に手渡しました。

地元の大豆で豆腐を作ろう！

安達高校食育教室

当JAは11月28日、第2回安達高校食育教室を同校の調理室で行いました。家庭科フードデザインコースを履修する3年生23人が参加し、地元の大豆を使った豆腐作りを行いました。

当JA女性部安達地区本部二本松総合支部の橋本昭子さんが講師となり、大豆から作る豆腐と豆腐を作る際にできる「おから」を使ったサラダの2品を作りました。前日から水に浸しておいた大豆をミキサーにかけると青臭い匂いが広がり、生徒たちは「これが本当に



▲大豆をミキサーにかける生徒



▲豆乳を鍋で煮る生徒



▲完成させた手作り豆腐とおからサラダ

豆腐になるのかな」という様子でした。しかし、すりつぶした大豆を鍋で煮ていくと、だんだん豆腐の匂いに変わっていき驚いた様子でした。絞る作業では「豆乳とおからがこうやってできると知らなかった」と話す生徒が多く、関心を寄せていました。

固まった豆腐を型から取り出す作業では、「お店で売ってる豆腐みたい」「こんなにきれいに固まるなんてびっくり」と喜び、試食では、「いつも食べている豆腐より大豆の香りが強くておいしかった」「豆腐を作るのにこんなに手間がかかるとは思わなかった」と話していました。

次年度に向けて研修会

やさしい部役員研修

安達地区本部は12月5日、二本松市で安達地区やさしい部役員研修会を開きました。やさしい部役員やJA役員、市場関係者など約70人が出席し、次年度に向けた取り組み事項などについて協議を行いました。

研修会では同地区やさしい部の阿部興一部会長が「来年度は今年度以上の成果をあげられるような対策を協議してほしい」とあいさつし、JAの担当者が今年度の販売実績を報告。その後、品目ごとに分科会を開き、生育経過や販売実績を確認。今年度の課題を基に来年度に向けた対策を協議しました。



▲あいさつする阿部支部長

おもてなし料理 4品を調理

第4回自然塾



▲作業を分担しながら調理を行う参加者の皆さん

安達地区は12月12日、本宮中央公民館で第4回自然塾を開きました。本宮市や大玉村の組合員など27人が参加し、おもてなし料理4品に挑戦しました。

同塾では講師の阿部キヨさんが普段捨ててしまう親芋を使ったハンバーグやポリウムのある鶏ハム、八幡巻き、イカのマリネの4品を指導。参加者は班に分かれて作業を分担しながら調理を行いました。最後はみんなでテーブルを囲んで完成させた料理を味わいました。

参加者は「お正月に早速作ってみたい」と話していました。



青年大会で柚原さんが最優秀賞を受賞

そうま地区青年連盟

平成29年度福島県JA青年大会が11月26日に摺上亭大島で開かれ、青年の主張の部で「農業と幸福度」と題して発表した原町支部の柚原友加津さんが見事最優秀賞を受賞しました。
組織活動発表の部では同青年連盟小高支部の木幡竹利さんの「小高区の活動報告」と題した発表が優秀賞を受賞しました。
柚原さんは1月17、18日に山形市で開かれる東北・北海道地区JA青年大会「青年の主張の部」の福島県代表として出場します。



▲最優秀賞を受賞した柚原さん

▲「組織活動の部」で発表された木幡さん

練習の成果を発揮 スコアを競う

年金友の会「ゴルフ大会」



▲上位入賞者の皆さん

年金友の会そうま地区は11月17日、南相馬市の鹿島カントリー倶楽部で「第2回JAふくしま未来年金友の会そうま地区ゴルフ大会」を開き、36人が参加しました。
参加者たちは、日頃の練習の成果を発揮しながらスコアを競った結果、鹿島支部の高玉幸治さんが優勝しました。
結果は次の通りです。(敬称略)
優勝||高玉 幸治(鹿島支部)
準優勝||岡元 金良(新地支部)
第3位||酒井 一昭(原町支部)

生け花の歴史や命の大切さを学ぶ 3つの小学校で花育授業を実施



▲上真野小6年生の児童たち

生け花を通じ花と触れ合うことで命の大切さや優しい心などを育む花育事業を11月8日に南相馬市立上真野小学校、12月8日に新地町立福田小学校、12月19日に南相馬市立石神第一小学校で開きました。
今回は池坊の大悲山正子さんと只野由起子さんが各小学校で生け方を指導。教室では生け花の歴史や季節の行事について学習した後、同地区管内で生産されたトルコギキョウやカスミソウを用いて作品を作り、生け花や季節の行事への関心を高めました。



▲石神第一小5・6年生



▲福田小3・4年生の児童たち

花育に参加した児童は「イメージ通りの作品ができた」「初めてであり上手いかなかったけど、自分でまた挑戦したい」と笑顔で話していました。

苗生産における栽培技術学ぶ

愛知で視察研修

当JAそうま地区種苗部会は11月29日から30日にかけて、愛知県で視察研修を行いました。部員3人が出席し、良質な野菜苗・花苗生産における栽培技術を学びました。
研修では全国でも有数の大規模法人である(有)角田ナーセリーを訪れました。水管理・温度管理の均一化に向けた説明を角田篤代表取締役より直接伺いました。また、花苗の販売状況や今後の動向等を知るため愛知豊明花き市場を視察。今後の生産管理に生かせる有意義な研修になりました。



▲角田代表取締役から説明を受ける部員

そうま地区野菜販売促進PR 生産拡大へ意欲向上

そうま地区は12月4、5日に札幌市で販売促進PR活動を行い、同地区園芸部会の部員など13人が出席しました。

札幌市場では齋藤忠一部会長と星保武そうま地区担当常務が「そうまの野菜」PRスピーチを行い、市場関係者からは「冬の札幌の台所を担うつもりで生産量拡大に取り組んでほしい」と力強い言葉をいただきました。

量販店では農産物PRチーム「チームMIRAIそうま」のPRレディが試食販売を実施。来店客からは「福島の野菜はおいしいね」などの声をいただき、生産者は意欲を高めました。



▲「そうまの野菜」をPRする齋藤部会長(右)と星常務

佐藤ミヨさんの百歳祝い

年金友の会「長寿祝い」



▲100歳を迎えた佐藤ミヨさん(中央)

南相馬市原町区長野の佐藤ミヨさんが11月7日に100歳を迎えたことを祝うため11月9日、佐藤さんの自宅で感謝状贈呈式を開きました。

贈呈式では星保武そうま地区担当常務が感謝状を、滝澤徳雄石神地区年金友の会会長が記念品を贈呈しました。
佐藤さんは天気の良い日は1kmほど散歩し、月に一度はパーマ屋へ行っています。「自分のことは自分でこなすことが長生きの秘訣」と話していました。

秋冬収穫と夏秋播種作業を学ぶ

ネギ播種指導会



▲播種作業の説明を聞く参加者

そうま地区は12月11日、相馬市今田の千枝章一さんの圃場でネギ播種指導会を開催し、生産者や関係者29人が参加。秋冬ネギの収穫と夏秋ネギの播種作業のポイントを学びました。
指導会では秋冬収穫ネギは止め土によって収穫時期を調整することや気温の低下による凍害、出荷時のネギの軟白の仕上りの確認方法、夏秋ネギに向けての播種作業のポイントなどを確認。参加者の皆さんはメモをとりながら熱心に耳を傾け、「今日学んだことを生かして良質なネギを作りたい」と話しました。

おでかけ みらいろ〜ど



気の向くままに 散歩道

1 つきだて花工房

平成8年8月8日に「都市と農村の交流」を目的にオープンしました。自然に囲まれているため、春～夏にかけて咲く花や紅葉など、四季折々の風景を楽しむことができます。宿泊、日帰り入浴も可能で、ハーブ風呂で心も身体もリラックス♪

同施設の山崎佳代さんのおすすめは「新緑の季節」と「紅葉の季節」。朝の空気がすっきりと爽やかで、雲海も見られるとか。



どの季節も魅力があるので、足を運んでほしいです!

オープン当初から花工房につとめる山崎さん



初夏の様子。色とりどりの花が花工房を見上げる斜面を飾る

今回は、伊達市月館町を散策。千葉喜一郎理事と斎藤幸文年金友の会月館地区部会員のプロデュースのもと、月館町のおすすめの場所や歴史を巡ってきました。



案内してくれたお二人♪

施設情報
●住所：伊達市月館町下手渡字寺窪7
●問合せ：024-573-3888



伊達市指定文化財

5 下手渡藩陣屋跡 ●住所 伊達市月館町下手渡天平

三池藩(現在の福岡県大牟田市)を領有した藩主「立花種善」が移封して陣屋を置いた場所。側には立花家の事歴を記した「懐古の碑」が立っています。



下手渡藩陣屋跡前にある石碑

4 耕雲寺侍墓地 ●住所 伊達市月館町下手渡字上代55

移封によって下手渡藩の藩主となった「立花種善」やその家臣の墓地。立花一族の先祖の高橋紹運が豊田秀吉の島津勢と戦ったときの戦死者700余名の名を書いた大位牌もあります。



下手渡藩主「立花種善」や家臣の墓地

6 岳林寺十六羅漢像

岳林寺の向かいの丘にある16体の石造で作られた羅漢像です。松に囲まれて建ち並ぶその姿は独特な雰囲気があります。

●住所 伊達市月館町糠田字杉内37



歴史を教えてくれた岳林寺の関口衣子さん



1体1体の違う表情に注目

8 ぼっこカフェ

昨年10月に伊達市月館総合支所内にオープンしました。営業日には支所の利用者や地域の方が集まり世間話に花を咲かせます。ボランティアによって運営されていて、発起人の齋藤真弓さんは「陽だまりのようにあたたかいカフェにしたいと思い、店名をひなたぼっこのぼっこにしました」と話していました。



ぼっこカフェのこだわりコーヒーは無料ですが、カフェ継続のためにも募金箱に協力を。

施設情報
●住所：伊達市月館町月館字久保田5
●営業時間：午前10～午後4時
(定休日：日曜日～水曜日)
※1月は市長選の為、営業していません。
2月1日から通常営業となります。
●問合せ：024-572-2111
(総務企画担当)



入口の所にある看板

7 月見館森林公園(イルミネーション)

平成14年に斉藤和人さんが家に余っていたイルミネーションを水車小屋につけたことから始まり、現在では約2万個の電球が公園内を色鮮やかに照らしています。

点灯時間は17時～23時までで、期間は12月第1日曜日～1月20日頃までです。(天候によって変更があります)

●住所 伊達市月館町月館字月見館1



水面に反射して幻想的な雰囲気を醸し出すイルミネーション

3 あじさい小径 ●住所 伊達市月館町糠田字後田

道路沿い約2kmにわたり、4000本のあじさいが咲き誇ります。6月下旬～7月上旬に開かれるあじさい小径祭も楽しみの一つ。



地元農産物や花が並ぶあじさい小径祭



2年前の満開時の様子

2 つきだて交流館もりもり

地元の「匠の会」会員の指導のもと、様々な体験ができる施設。季節ごとに体験内容が変わります。また、地元農家が生産した野菜や加工品などの直売所もあり花工房に訪れる県内外の利用者に喜ばれています。



体験施設にはたくさんの作品が飾られている



木のぬくもりを感じられる店内

施設情報
●住所：伊達市月館町下手渡字寺窪7
●営業時間：午前9時～午後5時
●問合せ：024-571-1777

地域面

地域面



▲成牛を見つめる渡辺さん。健康な母体作りのためエサの栄養バランスを重視する

福島地区 渡辺 健介さん

- 畜種 和牛
- 飼育頭数 子牛・育成牛40~60頭、成牛60頭程度

農業所得アップ
みらいる!テン
所得向上への取り組みを
紹介しています。



▲仕切りに組み込んだパイプを伸縮させ、別の仕切りと接合すると新たな空間が生まれる



▲分娩房の様子を常に把握できるよう、家中では牛舎に設置したカメラの映像が見られる



▲もらった廃材で手作りした牛舎。震災のときも大雪のときも被害は何もなかった



▲連動スタンションを開けると牛たちはスムーズに餌場に入る



▲牛舎の横に積み上げられたホールクロップサイレージの一部

工夫された牛舎が可能にする 多頭数と受胎率

伊達郡川俣町飯坂で和牛繁殖農家を営む渡辺さん。特徴的なのは「飼育頭数の多さ」と「受胎率の高さ」です。子牛と成牛合わせて約120頭を、奥さんの恵子さんと2人きりで飼育管理しているにも関わらず、受胎率は県平均の7割を上回る9割。それを可能にしているのが、省力化のために工夫を凝らした牛舎です。渡辺さんの牛舎は昔の蚕室を活用しています。廃材を用いて自分の手で牛舎へとリフォームし、頭数の増加に合わせて蚕室に続くように増築してきました。舎内は分娩スペースや餌場、個室など細かく仕切られています。仕切りは簡単に動かせるように工夫されています。必要に応じて牛舎の間取りを変えることで、牛たちは自然と渡辺さんが望む場所へ移動します。牛を引く労力がかからないため、2人きりでも100頭を超える牛を管理することができます。動く仕切りは、成牛の「血液検査」や子牛の「ワクチン接種」のスムーズな実施にもつながっています。渡辺さんは母体の健康状態を把握し飼育管理に反映させるため、年2回成牛の血液検査を行います。また、子牛の病気を予防し死亡事故を減少させるため、生まれる前の時点で母牛にワクチンを接種します。「血液検査などで牛を個室に移動させるときに、毎回牛を引っ張っていたら大変。いかに省力化するかを考えて牛舎を作った」と話し、頭数が多くても牛舎の工夫で行き届いた管理を可能にしています。

多頭販売が生み出す安定した経営

渡辺さんは平成17年から本格的に畜産を始め、風評被害などで多くの畜産農家が牛を手放した震災後から、飼育頭数を現状まで増やしました。「農業は『賭け』の様な所があるから、うまくいくかは誰もわからない。ただ、畜産農家が減り、子牛がセリで安く売られる状況が自分にとってはチャンスだと感じた」と当時を振り返ります。また「粗飼料は自分で作る」という概念を打ち破り、100%買いエサを使用。高い受胎率による多頭販売で通常よりも多くの収益を上げていることがそれを可能にします。現在は福島市松川町水原地域の農業生産法人と契約し、ホールクロップサイレージを年間約2千個購入しています。また、多頭販売の良さは、市場価格が多少下落しても一定の収益が見込め、経営の安定につながる。ここで「畜産は負債を抱える産業と話す人もいるけど、受胎率を上げて多頭販売を可能にすれば充分に買いエサでも経営が成り立つ」と実感しています。渡辺さんの経営は平成27年にJA全農福島が多頭販売優良生産者表彰の特別表彰者(年間50頭以上販売)を受賞している他、当JAの購買事業や販売事業の表彰も受賞しています。「こうして経営できるのも、いろんな人に巡り合い支えてもらっているから。経営改善は簡単には出来ないけど、良い成績を持つ方から教わった技術や、経験で得た技術は隠さずみんなに伝えていきたい」と今後の畜産の発展を願っています。

親元就農・新規就農で生産維持・拡大! 農家仲間で農地を守る!

平成29年度 JAふくしま未来
新規就農応援セミナー 特集

参加できなかった方
必見

当JAは11月14日、管内で新規就農を希望する方や就農5年未満の方を対象に「新規就農応援セミナー」を福島市のウェディングエルティで開き120人が出席しました。

新規就農応援セミナーでは、行政やJAが新規就農支援施策の説明、千葉県の農業生産法人株式会社百姓王の森田泰彰CEOが「農業の新たな挑戦」と題し講演を行いました。また、管内の就農者が、先輩農家として農地探しや安定的な収入など苦労した点や就農者に向けたアドバイスを送りました。



講演

【農業の新たな挑戦】

講師・農業生産法人(株)百姓王

代表取締役CEO

森田 泰彰氏

百姓王構成員 (新規就農8年目)

宇野 真弘氏

百姓王の設立目的・設立経緯

千葉県富津市を拠点に、地域農業を守ろうとJAきみつ青壮年部の有志が4haの耕作放棄地を再生、稲刈りの請負等を行っていた。耕作放棄地の増加等に悩む地域のため、平成24年に15人で「富津営農集団百姓王」を組織。農林水産省のアドバイスを受け平成26年に株式会社化した。

を志す者を雇用することを検討中。

森田CEOからアドバイス

仲間がいるから、色々なことにチャレンジすることが出来る。長く付き合える仲間をつくり切磋琢磨することで、農業がおもしろくなってくる。ひとりで悩みを抱え込まずに、ゆるい気持ちも必要。

Q&A

Q 宇野 真弘氏 (新規就農8年目) の「儲かる農業」のポイントを教えてください。

A 両親が非農家で新たに農業を始めるために、農業生産法人(有)トップリバーで5年間、農業研修を兼ねて働いた。その後、地元に戻り新規就農をした。農業には3つ必要なものがある。①経験 ②知識 ③技術
トップリバーでは、技術面だけではなく地域の輪に入り仲間になることで様々なことを教わることができた。先輩農家の経験(勘)をよく聞き、自分も身につけなければならぬ。何事も吸収する気持ちで、頑張っしてほしい。

【先輩農家が語る就農までの道のり】

今後就農される方へアドバイス

大内 徹也氏 (福島地区・Uターン) 農業をしたいという、やる気と強い意志があれば、辛いことも乗り越えられる。

百姓が大好きな仲間
構成員は20代から40代の青壮年部員の百姓が大好きな仲間が中心。百姓王の構成員は稲作経営専業、稲作と施設野菜の専業、施設野菜(トマトやメロン)の専業など多様な形態の専業農家であり、各人の農業経営を優先している。「百姓王」の事業活動は、お互いの出役で行う。百姓王だけで生活をしている人はいない。

百姓王活動内容

「農作業受託」「農業用ハウス設置工事」「耕作放棄地再生」「農産物輸出」などの収益性のある事業に加え、「地域環境に優しい活動」「食農教育活動」など地域社会に貢献するための公益活動にも取り組む。

経営・運営理念

富津市は小規模な農家が多く、近年では特に、高齢化の進展や米価下落等の影響で農業経営を断念する農家が続出。昔は水田だったところが、草だらけの耕作放棄地になる場所が増えつつあった。耕作放棄地を指さし、子供



▲荒れ果てた耕作放棄地を再生

ことができる。1年間手塩にかけて育てた果物を食べてもらい、美味しいと言われることがやりがい。就農後は早く地域にとけ込むため行事や会合等に積極的に参加すること。新規就農者は「お世話役」「おせっかい」が頼り。不明な点があれば、関係機関やJA等に出向きアドバイスを受ける。

大橋 克也氏 (伊達地区・Uターン)

試行錯誤の毎日だが、それも農業のやりがい。会社員生活と比べ、人と接する機会が減るため、志をともにする仲間と繋がれるようにすると良い。親元就農の場合、技術面や経営面で親との意見の違いが出ることもあるが、お互いに納得のいく経営ができるように努力すること。

情報交換会

セミナー後には、情報交換会を開き、農業で工夫していることや将来の経営の理想(夢)などを話し合い、仲間づくりの場となりました。
・農業が大好きで時間があれば常にほ場に行つて作業をしている。
・仲間づくりが大事。飲み会や集会の度に、常に話題は農業のこと。情報交換を重要視している。
・研修先のほ場で技術を習得したが、実際に自分のほ場で経験しないと気づかない部分が多い。営農指導員のレベルアップに期待をしている。

「ここでは草を育てているの?」と問いかけたことがきっかけになり、生まれ育ったふるさと「富津市」の「農」を守るために仲間と共に一念奮起し様々な活動を広げている。

組織の概要 (平成29年度)

構成員数は22人(内役員5人)。



▲百姓が大好きな仲間「百姓王」

作付面積 (平成29年度)

内容	面積(ha)
水稲栽培	15
農作業受託	50*
WC作	25
畑作	1.5

*うち田植え10ha
稲刈り40ha

法人の主な取り組み

「百姓王」の農業経営では水田・畑作の作業場面で、構成員がそれぞれ得



▲活発な意見が交わされた情報交換会

・JAの担い手渉外の担当者は雨の日を見計らつて情報提供に来てくれる。今後、担当者が代わっても同じように続けてもらいたい。
・百姓王は組織であるような、ないような面白い組織だと感じた。
・50・60代の親元就農もよろしく!!
・サラリーマンで体調を崩したけれど農業で再出発
・法人化を目指したい
・JA農業振興支援事業をフル活用!(情報交換会一部抜粋)

当日資料配布中

当日配布した資料を希望者に配布します。問い合わせは、営農部農業振興課(電話024・573・1303)まで。

目標

「百姓王」ブランドの構築。
新規就農者研修の受け入れや農業

課題

農地や農作業委託が年々増加傾向にあり、22人の構成員では仕事のやりくりが困難になってきている。

ホール・クロップ・サイレージ(WCS)の取り組み

平成26年より米価の低迷、飼料価格の高騰を背景にWCSの取り組みを開始。出穂と同時に刈り取りをするため、鳥獣被害(イノシシ)が出るほ場を中心に面積拡大を図っている。

特色ある産地づくり

JA全農千葉等と協力し、マレーシアやシンガポールにメロンなどを出荷開始。
営農集団の頃から、食農教育にも取り組んでおり、再生した耕作放棄地で、地元の学生が農業を学ぶ場所として収穫体験などを行っている。

担い手組織による、震災からの営農再開

〜そうま地区管内・日立木〜

日立木地区は相馬市の南部、国道6号線の両側に位置し、平坦な土地柄のため昔から水田約300haを有した稲作地帯である。基盤整備も1haの区画整理であり、管内はJAの13支部（八西からノ堀ノ内・上立谷・北山・上赤木・下赤木・中屋敷・立谷町・町東・地ノ内・川端・大迎・上柚木・下柚木）で構成され、大規模水稲農家は30ha台1戸、20ha台1戸、7〜8ha数戸、JA子会社法人（㈱アグリサービス）（約10ha）及び各農家で地域の水田を守っている。

■「日下石ファーム」設立経過

平成23年の震災後、津波による塩害のため6号線東側の地区の水田は休耕を余儀なくされた。このため水張りによる除塩対策、塩化カリによる放射性物質吸収抑制対策など、営農再開に向けた各種施策を実施し、平成26年からようやく水田への作付けが可能となったが、高齢農家が多く、作付けを希望しない農家が多かった。そのうち6号線東側の川端・大迎地区では、支部長などJAの役員達と農家で話し合いを持ち、「このままでは、地区の水田が潰れてしまう。



組織代表者の皆さん：前列左から女性部そうま地区日立木支部渡辺文子副支部長・日下石ファーム久米本米夫代表理事・日立木地区支部長会岩崎好伸会長・同女性部河内恵美子支部長・同ファーム久米本義敏副代表・後列左から同ファーム屋仲敏行理事、渡部顕教理事・同支部長会堀正志副会長、佐々木泰弘会計

だれか耕作を引き受けてもらえないか」と相談の結果、これまで7haの水田を請け負っていた久米本米夫氏を中心となり、平成26年1月「農事組合法人日下石ファーム」を設立。担い手として地区内の水田を受託することとなった。

■法人の経営状況

組合員は19戸、内5名がオペレーターを兼ねている。農繁期の雇用は10名で、農地中間管理機構から借り受けた水田30haを含めた借地は50

ha、基幹受託作業は12haである。その他オペレーターの所有地8haを含めると、日立木地区の約3割を耕作している。田植機3台、トラクター3台、コンバイン3台、その他リースセンターでは色彩選別機を所有し、一等米の生産を心がけている。

稲作のほか、組合員の奥さん達は集落営農のメリットを生かした余剰勢力を駆使していちじくを栽培し、直売所等に出荷し安定収入を得ている。

■将来展望

「我々を見ている周囲のサラリーマンからは、農業は楽しそう、儲かっていそうで良いなと羨ましく見られている。しかし今後米価の下落が予想されるので、その対策として、減農薬、減化学肥料のエコ米生産を推進し環境保全型農業を実践している」と久米本代表理事は楽しそうに話す。

オペレーターが高齢化してリタイア

する時のために、後継者がすでに決まっております。今後の心配もなしとのこと。

■改めて日立木地区を展望

日立木支部長会岩崎好伸会長は「これからこの地区も農家の高齢化が懸念されるので、もう一か所担い手受託組織が（6号線西側で）必要になってくる。組織ができれば将来も安泰だろう」と語る。また、女性部そうま地区河内恵美子支部長は



ファーム倉庫と85馬力のトラクター



地区内の道の駅そうま周辺の大規模水田

「衣食住の内、女性が守る食事。食に関心のある女性、特に若い女性はぜひ女性部で活動したい」と話した。

△日立木地区の主要品目▽

H28年度販売高
米穀約2億561万円（約3万6千袋 / 1袋30kg）、飼料用米141t（JA経理上販売高には非計上）

みんなで防ごう農作業事故

新年を迎え、農作業による事故を減らすため、農業機械の日々の取扱・点検、農作業安全の基本動作の励行の重要性について、再度お考えいただきますよう、よろしくお願い致します。

昨年は、農作業中にヒヤリとしたことがなかったでしょうか。シーズンオフの対策として作業場所の整理・清掃や照明の改善、工具や器具の点検・補充は今後の作業性・安全性に大きな影響があります。これらの対策は、シーズン中にはなかなかできませんが、逆にシーズンを過ぎると忘れてしまいがちです。今年シーズンオフは、作業を改めて振り返り、安全対策に取り組まれてはいかがでしょうか。

高所作業時の安全対策

寒さが厳しい季節の中でハウスの補修、果樹の剪定等で高所作業する場合には、注意して作業をしてください。

【脚立使用の5つのポイント】

- ①脚立設置時に、最下段に乗って脚立の安定を確認。
- ②高さに応じて脚立を変え、天板には乗らない。
- ③チェーンの長さを調整し、開脚防止チェーンを掛ける。
- ④昇降時に重いものを持たない。
- ⑤身を乗り出さずこまめに脚立を移動し、直上直下で作業する。



【チェックポイント】

- 脚立を安定して設置できる広さがあるか。
- 脚立周囲に昇り降り時に邪魔になったり、転倒したときに危険な、側溝や崖や石などがないか。
- 開脚防止チェーンを掛けているか。

安全な農作業を心がけることが第一ですが、万一の事故に備えて「労災保険」に加入しましょう！



せり情報

■JAふくしま未来実績（開催日 12月12日・13日）

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	70	70	802,039	1,270,080	554,040	286	2,803	287	783,072	18,967
去	110	109	854,548	1,210,680	217,080	306	2,791	278	801,306	53,242
計	180	179	834,013	1,270,080	217,080	298	2,796	281	794,468	39,545

■福島県家畜市場（開催日 12月12日・13日）

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	373	372	784,196	1,270,080	507,600	287	2,736	288	767,736	16,460
去	451	451	866,670	1,375,920	217,080	310	2,796	280	836,187	30,483
計	824	823	829,391	1,375,920	217,080	299	2,770	284	807,613	21,778

■乳牛せり市場（開催日 12月19日）

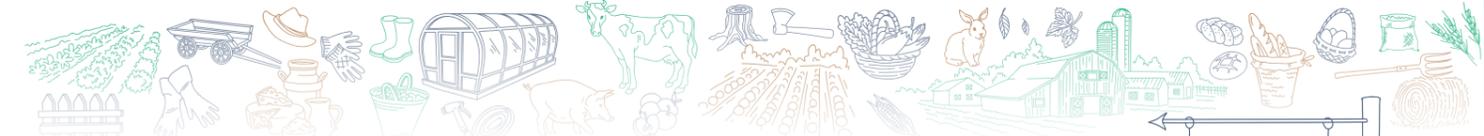
	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	前月価格	前月比
登録牛	1	335,880	335,880	335,880	81	4,147	—	—
妊娠牛	2	432,000	452,520	411,480	—	—	—	—
ET和雌	2	525,420	525,960	524,880	71	7,453	429,120	96,300
ET和雄	5	558,576	687,960	465,480	102	5,487	548,794	9,782
乳雌牛	2	106,380	116,640	96,120	73	1,457	10,800	95,580
乳雄牛	29	111,687	159,840	74,520	74	1,506	136,023	-24,336
F1雌（育成）	20	391,338	429,840	304,560	278	1,408	311,580	79,758
F1雄（育成）	4	349,920	378,000	284,040	319	1,098	354,780	-4,860
F1雌（スモール）	42	210,497	280,800	1,080	69	3,038	231,731	-21,234
F1雄（スモール）	76	276,309	356,400	65,880	74	3,731	312,419	-36,110

ワンポイントアドバイス

つなぎ運動で落ち着きのある牛を、子牛を出荷する前には、つなぎ運動をして牛に落ち着きが出るようにします。つなぎ運動とは、平らな場所で頭を持ち上げ、膝留棒に頭絡を密着させ、きつく結びつけること。つなぎ運動とフランジンをすることで、生産者に慣れ出荷時のトラックへの誘導がしやすくなるので、出荷の2ヶ月前から行うようにします。

和牛せり市場・乳牛せり市場





園」を見学しました。参加した生徒は「今回、『牛・稲作の複合経営』と『ネギの水耕栽培』の2つの農業法人を見学することができました。農業法人に興味があったので、就職するにはどうすれば良いのかを質問することができ、また、経営者の方からはアドバースを頂け、大変有意義な時間を過ごすことができました」と話していました。



「輝きを未来へ 相馬農業高校」

「地域に元気を発信しよう！」を合言葉に



【生産環境科の活動】
福島県相馬農林事務所主催の「フレッシュ農業ガイド」が12月5日に開かれ、生産環境科の2年生28人が「株」櫻井アグリ「株」ひばり菜「株」ひばり菜



【環境緑地科の活動】
高速道路の利用者にひとときの癒しを感じて頂くとう、環境緑地科の1年生29人は11月14日、ネクスコの職員と協力して学校で栽培したバイオラを南相馬インターチェンジの花壇に植栽しました。

その後ネクスコの職員から、高速道路の安全



【食品科学科の活動】
今年度の相馬ショップの営業が12月8日に終了しました。1年間に7回実施し、たくさんの方々に農産物や食品加工物を購入して頂きました。



相馬ショップでは、「食品製造コース」の生徒が製造したパンや菓子、ジャム、ジュースなどを、「食品流通コース」の生徒が販売し、コースの特色や自身のアイデアを取り入れながら活動に取り組まれました。

来年年度も実施する予定です。今後ともよろしくお願ひします。



【インターンシップ】
キャリア教育の一環として、11月7日から9日までの3日間、2年生がインターンシップを行いました。建設関係や製造業など多くの地元企業での経験を通し、社会人の一人としての心構えを学べ、卒業・就職に向けて有意義な時間を過ごしました。

JAの農業振興支援事業を活用 農業所得アップ優良事例

当JAでは今年、4億円の予算を確保し、農業振興支援に取り組んでいます。事業を活用し農業所得が上がった事例を紹介します。

優良事例 1

安達地区：小菊生産農家
栽培品目・面積：小菊8a



①項目	水稲・菌茸・養蚕経営から新規園芸品目導入による農業収入の拡大と家族労働力の有効活用	
②活用した支援事業	地域おこし種まき運動事業 パイプハウス新規導入助成	
③事業活用前の課題	小菊定植苗の本数を確保できず、安定的な増産を図るために小菊栽培用ハウスの導入が必要だった。	
④取り組んだ方策	パイプハウス事業費349,297円のところ事業活用により174,648円で導入し、初期費用の軽減を図った。	
	H28実績 販売数量・販売金額	数量 18,200本 金額 78.3万円
	H29実績 販売数量・販売金額	数量 25,880本 金額 102.6万円
	前年比	数量 142% 金額 131%
⑤取り組み後の状況	小菊栽培に必要な苗生産ハウスを事業で導入したことにより、初期投資額の軽減と苗生産ハウスを専用に独立させることができた。育苗管理が適正にできたことで前年より定植本数が増え、7,680本の増産に繋がった。	
⑥農家コメント	平成28年度より小菊栽培を開始したが、栽培面積を拡大するには管理用ハウスの拡充が必要だった。助成事業を活用することにより経費を軽減できたことがありがたい。また、指導体制においても小菊部会については大規模産地である福島管内の生産部会との連携ができていたため、指導助言等が受けられ安心して栽培に取り組むことができた。	

優良事例 2

そうま地区：水菜生産農家
栽培品目・面積：水菜4a



①項目	パイプハウス新設による栽培面積増反	
②活用した支援事業	野菜生産拡大施設導入事業	
③事業活用前の課題	水菜の栽培面積が確保できなかった。	
④取り組んだ方策	平成28年にパイプハウスを増設し、水菜施設栽培2aから4aに増反。パイプハウス事業費993,000円のところ事業活用により497,000円で導入し初期投資額の軽減を図った。	
	H27実績 販売数量・販売金額	数量 456kg 金額 22.1万円
	H28実績 販売数量・販売金額	数量 964kg 金額 57.4万円
	前年比	数量 211% 金額 260%
⑤取り組み後の状況	施設増設により面積拡大に繋がったとともに、扱える品目が増え回転率が上がった。	
⑥農家コメント	1年の収入の大部分が夏に集中していたため、秋冬野菜に取り組み、収入の確保につながった。	

JAふくしま未来では来年度以降も支援事業を検討しています。情報は広報誌等でお繋ぎさせていただきますので、ご確認よろしくお願ひ致します。なお、補助事業内容、助成率は地区により異なります。



そうま 太極拳で爽やかな汗



太極拳で爽やかな汗を流す部員

女性部そうま地区本部は12月20日、同地区本部で女性大学の健康関連教室を実施し、部員5人が太極拳を行いました。同大学は昨年6月に開講。これまで月1回程度講座を開いてきました。この講座で習得した太極拳は2月に行う家の光記事活用発表・生活文化活動発表大会で披露します。今回は南相馬市太極拳協会の山岡雪子さんと杉栄子さんを講師に迎え、2月の発表に向けて太極拳の型の再確認を行いました。参加者の皆さんは音楽に合わせてながら体全体を動かし、爽やかな汗を流していました。講座を終えた部員は「あと少しで発表なので、皆さんにしっかり見せられるよう残りの講座を頑張っていきたい」と話していました。

福島 家の光普及推進で
福島東部総合支部が最優秀賞



賞状を受け取る佐藤たみ子総合支部長

福島地区は12月13日、家の光大会・生活文化活動発表会を福島市のパルセいいざかで開き、女性部員など630人が出席しました。表彰では福島東部総合支部が普及推進優良女性部総合支部表彰で最優秀賞を受賞。また記事を活用した体験談発表や作品展も行い、「家の光」の普及拡大と教育文化活動のさらなる発展に向けて一丸となりました。橋内弘子部長が「今年はみんなで切磋琢磨しながら活動をしてきた一年だった。今後も発展させてより良い組織にしていこう」とあいさつし、第一部がスタート。表彰と来賓祝辞の後、飯坂総合支部中野支部の齋藤幸子さん、吾妻総合支部水保支部の小池チイ子さん、福島南総合支部大森支部の丹治マサ子さんがユーモアを交えて記事活用発表を行いました。

そうま 「ベースボールフェスタin福島」で
カレーライスを振る舞う

日本野球機構(NPB)の東日本大震災復興支援事業「ベースボールフェスタin福島」が12月9日、南相馬市スポーツセンターで開かれ、女性部そうま地区の部員がカレーライスを選手や子どもたちに振る舞いました。当日は県内外から200人を超える参加者が集まり、女性部の皆さんは朝早くから準備に追われました。昼食になると子どもたちの長い列ができ、参加者は大盛りのカレーライスで「おいしい」と話しながら味わっていました。



カレーライスを振る舞う女性部員

第2部では7支部12組が日頃のクラブ活動で練習しているレクダンスや舞踊を披露し、会場を盛り上げました。第3部ではタレントの山田雅人さんが『『かたり』の世界』と題して記念講演し、三春町出身の会沢テルさんの味噌作りと震災の話を含む3本の物語を気持ちを込めて話しました。表彰結果は以下の通りです。
【普及促進優良女性部総合支部表彰】
最優秀賞…福島東部総合支部
優秀賞…吾妻総合支部、飯坂総合支部
【普及促進優良女性部支部表彰】
湯野支部、立子山支部、鳥川支部、大森支部、金谷川支部、吉井田支部
【普及促進優良地区表彰】
最優秀賞…松川地区 優秀賞…北福島地区



東京五輪音頭2020を披露した松川総合支部(水原・松川)の皆さん

伊達 旬の食材で3品作り交流楽しむ



調理中も会話が弾む

女性部伊達地区本部エルダー部会は11月29日、交流会を伊達市保原中央交流館で開き、部員38人が参加しました。同部会菊田信子部会長の「部員同士で交流しながら楽しく料理を作りましょう」というあいさつで交流会がスタート。今回は地元野菜やくだものを使い、素揚げしたかぼちゃや長ネギを盛り付けた「欧風カツカレー」、材料を切って調味液で和えるだけで簡単に作れる「白菜と人参のサラダ」、特産品の柿にヨーグルトをかけた「柿ヨーグルト」の3品を調理し、穏やかな雰囲気でお話を楽しみました。

安達 旬の食材で簡単クッキングに挑戦

女性部安達地区は11月29日に二本松会場、30日に本宮会場で第3回レディース講座を開きました。今回は食育指導士・食生活管理士・クッキングアドバイザーの久家雅子さんを講師に招き、「簡単ヘルシー!手軽に美味しいおうち料理」と題して、サツマイモご飯や大根と春雨の中華炒め煮、白菜のマリネ、かぼちゃの豆板醤煮など旬の野菜を使った料理7品を調理しました。調理後はみんなで試食をし、わきあいあいとした楽しい時間を過ごしました。参加者は「いつも決まった料理ばかりになっていたが、新しい使い方が学べてよかった」と喜んでいました。次回は「ときめき☆日帰りツアー-浅草でランチビュッフェと宝塚鑑賞」を実施します。



調理のコツを教わる参加者の皆さん

女性部
活動紹介



彩りが鮮やかなメニューの完成!

部員の皆さんは「みんなで作れて楽しかった」「おいしいものを作ることが出来たので家でも作ってみたい」と大満足の様子でした。

安達 輪投げ大会で盛り上がる

女性部安達地区本部二本松総合支部は12月16日、岳下体育館で輪投げ大会を開き、お互いの交流を深めました。同支部は東日本大震災以降ボウリング大会を毎年行っていました。地元のボウリング場が閉店してしまい寂しい思いをしていたところ、同支部役員から「輪投げ大会をやってみよう」という要望があり、今回初めて実施しました。同大会には部員48人が参加。班に分かれて個人戦5回と団体戦2回を実施。参加者の皆さんは「独特の得点方法で頭の体操だね」と話しながら、楽しく輪投げをしていました。担当者は「来年も今年の反省点を踏まえながら開催したい」と話していました。

結果は次の通り
(敬称略)
優勝 菅野エク子
準優勝 安達さき子
3位 松本よし子



輪投げを楽しむ参加者の皆さん

元気にすくすく

みらいっ子

★ 福島地区 ★

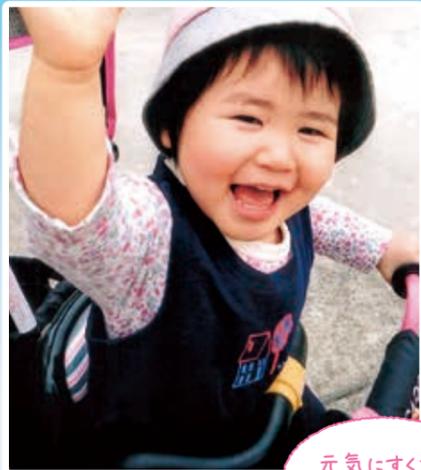


じいじとおばあさま
末永くよろしくね。

福島市

- 難波哲雄さん、
敏子さんのお孫さん
- 海翔くん(5歳)、
萌々花ちゃん(1歳)

★ 安達地区 ★



元気にすくすく
育ってね!

本宮市

- 吉田茂さん、
有子さんのお子さん
- 有希ちゃん(2歳)

★ そうま地区 ★



優しい女の子
になってね♪

南相馬市原町区

- 小棕亮さん、
友里衣さんのお子さん
- 美織ちゃん(1歳)

★ 伊達地区 ★



元気に育ってね!

桑折町

- 佐竹宏信さん、
幸子さんのお子さん
- 心春ちゃん(9ヶ月)



ベジフル

みらいろキッチン

今回は、栄養士の資格を持つ畠ゆかりさんがおすすめる、今が旬の「ブロッコリー」を使った「宮中トッポギ風」を紹介します。

今回のメニュー
宮中トッポギ風

旬のブロッコリーとお正月に食べられなかったお餅で簡単クッキング♪
白いご飯やおつまみにぴったりの一品です。



■ 畠ゆかりさん
プロフィール
当JAの職員。普段は支店の窓口を担当するほか、JA農産物PRチームに所属し、農産物の消費宣伝活動にも取り組んでいる。



材料 (2~3人分)

- ブロッコリー… 70g
 - タマネギ… 1/2個
 - ニンジン… 1/2本
 - シイタケ… 3枚
 - もち… 100g
 - 牛肉… 50g
 - サラダ油… 大さじ1
- A
- 醤油… 小さじ3
 - 砂糖… 小さじ1
- B
- 醤油… 大さじ2
 - 砂糖… 大さじ1
 - みりん… 大さじ1
 - 料理酒… 大さじ1
 - ごま油… 大さじ1
 - コショウ… 少々
 - いらりゴマ… 適量
 - コチュジャン お好みで

作り方

- ① AとBの合わせ調味料を作る。器に移し、味をしみこませる。
- ② ブロッコリーは小房に分け、タマネギは厚さ3mm幅に薄切り、ニンジン厚さ2mmに短冊切り、シイタケは軸を取り除き厚さ3mmに切り、牛肉は5mm幅の拍子木切りにする。
- ③ もちを1cm幅の拍子木切りにし、フライパンで少しやわらかくなるまで焼いたら、Aを入れた容器に移し、味をしみこませる。
- ④ フライパンにサラダ油を熱し、牛肉を入れ、火が通ったらタマネギ、ニンジンを加えて少し炒め、最後にブロッコリー、シイタケを入れて火が通るまで炒める。
- ⑤ 全体に火が通ったら、③のもちとBを加え、味を調える。
- ⑥ 器に盛りつけたら完成。



このコーナーでは当JAが販売する話題の商品や新商品を紹介します！広報課職員のアンテナを張り巡らせて、6次化商品に生産資材や生活資材まで幅広く取り上げて参ります！

「天のつぶ」加工品・新ラインナップ登場



ホログラム調の箱の黒色と稲穂のイラストが目を引くパッケージ
左が「米パフキャラメルクッキー」12枚入り・650円(税抜)、右が「米パフチョコクラランチ」12個入り・450円(税抜)

当JAそうま地区でブランド化に取り組む米「天のつぶ」を使った新たな商品が誕生しました。

一つはカップ型のクッキーにキャラメルを流し込み、大粒の米パフを散らして固めた「米パフキャラメルクッキー」。袋を開けたとき、一般的に想像するクッキーとは違う見た目の珍しさに、まず驚きます。甘めのキャラメル、サクサクの米パフ、あっさりとした甘さのクッキーのバランスが丁度よく、コーヒーや紅茶との相性バツグン。ザクザクとした食感も楽しく、いつものティータイムのお供にオススメです。

二つ目は米パフを甘さ控えめのチョコレートで固めたドーム型の「米パフチョコクラランチ」。1個はあまり大きくありませんが、思っている以上に米パフがぎっしりと入っているため、前述のクッキーよりも米パフの存在を感じられます。12個入りで450円(税抜)という手頃さでお土産にも重宝しそうです！

どちらも、そうま地区の農産物直売所「旬のひろば」と「ふれあい旬のひろば」でお買い求め頂けます！



「天のつぶ」の大粒な特徴を生かした2商品

【旬のひろば】

場所：南相馬市原町区錦町1丁目13
営業時間：9:00~18:00
定休日：年末年始
お問合せ：0244-22-2860

【ふれあい旬のひろば】

場所：相馬市尾浜字細田241-1
営業時間：9:00~18:00
定休日：年末年始
お問合せ：0244-38-6311

今月の おすすめ 商品

学生たちの酒米・お酒づくり



北村 育美 福島大学地域産業復興プログラム 研究員



金水晶で仕込みを体験する学生

平成31年に開学予定の「食農学類」の学生は、地域の中に積極的に出掛け、食と農に関わる活動に関わっていきます。一例として、既存の学類のゼミの中でモデルと位置付けている取り組みをご紹介します。

経済経営学類の小山良太ゼミ(地域経済)では、福島県産の食品の安全性に関する正確な情報の発信と、福島米のおいしさを知ってもらうことを目的に、平成26年度から福島市内の農家さんに協力していただき、学生自身が主体的に米づくりを始めました。

今年度は米づくりも4年目となり、米の需要の拡大や付加価値向上を目指し、新たなチャレンジとして、お酒づくりに取り組んでいます。

大学生にとって、日本酒は、実は飲む機会が少なく、日本酒のおいしさもわからないというのが現状でした。そこで、まずは、お酒になる酒造好適米(酒米)の種類や特徴を勉強し、酒蔵の見学などを重ねて、日本酒の基本的なところから学びました。酒米の栽培については、主食用の米づくりでもお世話になっている地元松川町の株式会社松川アグリ農産さんのご指導をいただきました。

今年度、福島市内に「福島地域酒米研究会」が発足し、市内の酒蔵、酒米づくりに取り組む農家、JA等が参加しています。この会では、「福島地域における地産地消による日本酒づくりと良質な酒造好適米生産による持続可能な地域農業の振興」を目的とし、酒蔵と農家のつながりを強固にするため、定期的な情報交換の場を設けています。会合には、ゼミの学生たちも



松川町の歴史と酒造りに関する

出させていただいています。お酒のプロフェッショナルである大人たちに囲まれ、勉強させていただく機会になっています。学生は、若い人に日本酒を飲んでもらうにはどうしたらよいと思うかという大きな宿題をいただきました。ゼミの中で、議論しているところです。

12月には酒の仕込みが始まりました。松川町で取れた酒米を使い、松川町の酒蔵である金水晶酒造さんで仕込んでいきます。まさに、地産地消のお酒です。大きな釜で蒸された米に麹菌をふりかけるところから見学させていただきました。お酒をかき混

ぜる作業も体験しました。学生たちはその地道な作業の中に、酒づくりの大変さと真髓を感じようです。

できたお酒は、福島大学のお酒として、今年3月の下旬に売り出す予定です。現在、お酒のネーミングとラベルづくりが進んでいます。お酒の名前とラベルは、いわばお酒の顔です。それゆえに、なかなか決まりません。学生たちは、日本酒を飲むきっかけとなるようなお酒になってほしいと、若者をターゲットとしていますが、大人たちは、購買層は年配者であるから、あまりポップな柄だと売れないなど、意見が分かれています。

このように、プロの皆さんにもまれながら、酒米栽培から、お酒づくり、さらにブランディング・マーケティングと、一連のプロセスを学ぶことができるのは貴重なことだと考えています。

私たちのお酒は、JAの直売所「こころ」や、県内のいくつかの酒店さんに置いてもらえることになりました。ぜひ、お手に取ってみてください。

みらいろ 作品展



岡崎 イクさん(桑折町)



大槻 純子さん(桑折町)



佐藤 弘美さん(福島市)



佐藤 ヨシさん(二本松市)



今村 久子さん(伊達市保原町)



菅野 恵子さん(桑折町)



桑折 ツネ子さん(南相馬市原町区)



鈴木 栄子さん(伊達市保原町)



野田 好子さん(伊達市保原町)



曳地 美雪さん(伊達市梁川町)



清野 カツ子さん(伊達市保原町)



大石 久子さん(二本松市)



鈴木 武子さん(伊達市保原町)

作品募集中!
絵手紙、川柳、俳句などの作品を募集いたします。住所・氏名・年齢・ご連絡先を明記の上ハガキまたは封書にて、お送りください。また、「みらいろ」を見てのご意見、ご感想もお待ちしております。応募締切は1月22日(月)必着です。
〒960-0185
福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「みらいろ作品展」係
※応募多数の場合は、掲載できない場合もございます。あらかじめご了承ください。



高橋 きぬさん(伊達市保原町)



清野 八智子さん(伊達市保原町)

俳句・短歌・川柳

●俳句

校庭の裸木子らの声をまつ

志賀 隆雄さん(南相馬市原町区)

庭先の南天の実に初雀

富田 直子さん(水戸市)

切り干しに冬の日射しが香りつけ

夏山 繁樹さん(福島市)

荒庭に植えた人なし万両熟るる

安藤 直子さん(南相馬市鹿島区)

鯖湖の湯手足伸ばして年暮れる

石幡 洋一さん(桑折町)

師走とて冬將軍も駆け足で

菅井 昭子さん(国見町)

嶺白く大麻頒布の候となる

武田 明守さん(大玉村)

●短歌

年の瀬や今年の漢字北となり
もろもろの事悲憤せり

遠藤 文子さん(南相馬市鹿島区)

妻逝きて百日なりて墓参せば
師走の風に新雪の舞い

岡崎 英也さん(桑折町)

どくに顔手足もみえず黙然と
雪虫真ん丸雪をは告げゆく

吉田 英子さん(伊達市梁川町)

凛として心新たに初詣
夢を追いかけて健康願ふ

渡辺 絹子さん(福島市)

●川柳

愛犬と寒さ分け合う散歩路

佐藤 弘美さん(福島市)

また外れ夢追い人宝くじ

松坂 義秀さん(南相馬市原町区)

親子旅脳裏に刻み思いでよ

林はつ子さん(南相馬市原町区)

相撲界トランプあとは水かけ遊びか

武山 勇一さん(南相馬市原町区)

殺人者殺すつもりなかつたどうゆうわけ

太田 三秀さん(南相馬市原町区)

散歩道猿と山茶花共演し

大畑 敦子さん(南相馬市原町区)

宮奇襲姉弟トランプ戦国もどき

引地 茂さん(南相馬市原町区)

ぎんめしが家畜の飼料超悔しい

三浦 良さん(南相馬市原町区)

冬来たりなば身は寒いが心が暖かく

太田 幸子さん(南相馬市原町区)

新年も放射地震津波めげずにがんばりだ

藤原 馨さん(南相馬市原町区)

ニユーイヤー嫌なこと等起こらぬよう

藤原 和子さん(南相馬市原町区)

吾が国も法律多し足すべからずな

藤原 萌雄さん(南相馬市原町区)

女市議議会に子供とこれ議員なの

藤原 實さん(南相馬市原町区)

セクハラか?ヨチヨチ歩きの老婆を抱いた

藤原 元氣さん(南相馬市原町区)

八十路登って迎えた米寿山

吉田 昭雄さん(南相馬市原町区)

くにみデーで迎いに来るの楽しみみで

佐久間 セツ子さん(国見町)

老公の訓辞教育肝に入る

佐藤 福子さん(二本松市)

孫三人爺婆思いて若菜つむ

佐藤 ツネさん(福島市)

霜切れて久しぶり見る金華山

浜野 春江さん(新地町)

初雲や道わ見えない山の道

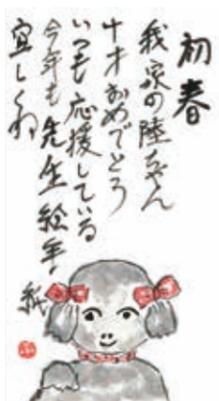
佐藤 忠良さん(二本松市)



山田 ひで子さん(伊達市保原町)



五賀 友子(南相馬市鹿島区)

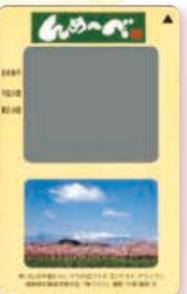


穴戸 フミさん(桑折町)

平成30年3月 ポイントカードが新しく なります!

ポイントカード 現 終了します!







ご注意ください

- ① ポイントの持ち越しはできません。
- ② 現行ポイントカードのポイント付与は平成30年1月末までとなります。
- ③ 平成30年1月末までにポイントはご使用ください。



JAふくしま未来

お知らせ



健康コラム
Health Column



かぜ（感冒）の特効薬はあるか？

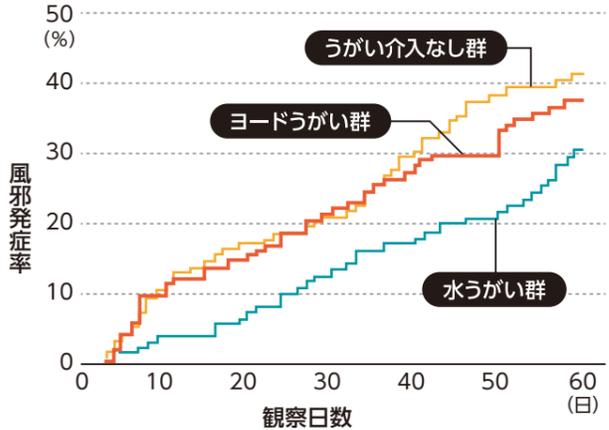
福島県農協会館診療所（所長）
重富 秀一 氏

昔から「風邪は万病のもと」といわれているためか、喉の違和感、くしゃみ、鼻水などのいわゆる風邪症状が出る時、早く治したいという事で診療所を訪れる方が少なくありません。風邪を治す特効薬ってあるのでしょうか。ご承知のように空気中を漂うウイルスや細菌が呼吸とともに体内に入り、鼻腔から上気道の粘膜に侵入して炎症を起こすと鼻症状（くしゃみ、鼻水、鼻づまり）、咽頭症状（喉の違和感や痛み）、咳や痰、微熱、倦怠感、食欲不振などの症状を引き起こします。これがいわゆる風邪症状です。原因となる微生物の80〜90%がウイルス、残りの10〜20%は細菌やマイコプラズマなどです。普通感冒（いわゆる風邪）の原因ウイルスはきわめて多く、ウイルスの同定（生物の分類上の所属や種名を決定すること）はきわめて困難です。仮に原因ウイルスが確定しても有効な薬剤はありません。風邪症状を伴う感染症のうち、抗生物質や抗ウイルス薬が有効な病気（細菌、マイコプラズマ、インフルエンザウイルスなど）についてはそれぞれの微生物に効果のある薬を投与することで原因となる微生物を消滅させることができます。それぞれの疾患が流行している時期に特徴的な症状がみられた場合は血液やレントゲン検査を行って正確に診断して有効な

治療を行います。それ以外の、いわゆる普通感冒の場合は、対症療法を行い、安静と保温に努め、栄養をとって自然に治癒するまで経過をみることにあります。じれつたいと思うかも知れませんが、自分の免疫力で風邪のウイルスを撃退するしかありません。さて、私たちは常に呼吸をしています。きれいな空気であっても埃や微生物が漂っていますので、1日に吸い込む細菌やウイルスの数は10〜20万個だそうなんです。しかし、鼻や気道の細胞は粘膜で保護され、表面にある繊毛の絶え間ない動きによって異物は常に外へと送り出されていますので、気道の奥まで微生物が侵入することはありません。ところが、空気が乾燥すると粘膜表面が傷つき、繊毛の運動も弱くなり、ウイルスが侵入しやすくなります。空気が乾燥した冬に風邪を引きやすくなるのはこのような理由によります。マスクを着用すると、微生物の吸入を抑制するだけでなく鼻咽喉の湿気も保たれるので、空気が乾燥する冬の風邪予防には効果的です。さて、うがい（嗽）は日本独特の習慣です。うがいの手洗いと違って感染を予防する効果があると思われていますが、科学的に実証されたのは最近のことです（図）。水うがいをした群では、特にうがいをしない群に比べて風邪の発症者が40%

減少しました。ヨウ素系うがい薬は口腔内の消毒に有効な薬剤ですが、風邪の予防目的では効果がないうえです。うがい薬は風邪の予防に有効なだけでなく、口腔内をきれいにする働きもあります。大人の口の中には、なんと300〜700種類の細菌が生息しています。清潔な人の口腔内でも約1000〜2000億個といわれます。ぞつとしますが、私たちはこれらの細菌と共存しており、健康で免疫力が正常な人で問題になることはありません。口の中にいる細菌は唾液によって洗い流されれば良いのですが、加齢や脱水などで唾液の分泌が低下したり、歯磨きを怠ったりすると細菌が繁殖します。歯垢や舌苔には多くの細菌が潜んでいます。これらの細菌には全身疾患の原因菌も含まれているので注意が必要です。口腔内に細菌が増えると鼻や喉の粘膜は障害されやすくなり、外から侵入した細菌やウイルスが細胞内に侵入する可能性も大きくなります。口腔内を清潔に保つことは肺炎やその他の全身疾患の予防にも有用と思われまますので、風邪の季節だけでなく、普段からうがいを

ように心がけてください。風邪とインフルエンザの区別が難しい場合があります。体温が37℃前後で症状が軽くともインフルエンザウイルスが検出される場合があります。インフルエンザの場合は48時間以内に抗インフルエンザ薬による治療を開始しないと薬の効果が十分発揮されません。インフルエンザの流行期に風邪症状が出た場合は、自己判断せず、医療機関を受診してください。ところで、市販されている風邪薬は500種類以上あります。軽い風邪症状を抑えるために市販薬を服用するのは良いのですが、数日服用しても改善しないときは診察を受けましょう。



風邪発症率 (%)

観察日数 (日)

（出典：Satomura K. Am J PrevMed.2005;29:302-7）

生活面

JAご利用の皆様へ

日頃は、JA事業をご利用いただき、厚く御礼申し上げます。皆様から、より一層のご信頼をいただけるよう下記の取り扱いをさせていただいております。ご理解とご協力をお願いいたします。

残高確認について

皆様にご利用いただいております。貯金の残高に誤りがないかを文書にて、確認いただく場合がございます。

この確認は、当JAの事務処理の正確性と効率性との高揚をはかるため実施するもので無作為な抽出により実施いたします。残高確認に関する書類が届いた際は、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

お気づきの点がございましたら、下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

ふくしま未来農業協同組合コンプライアンス対策課 ☎024-529-7951



農業者のみなさまへ

農業者年金に加入しましょう!

- ① 国民年金の第1号被保険者で
- ② 年間60日以上農業に従事する
- ③ 60歳未満の方なら

どなたでも加入できます

- 1 65歳の農業者の方の平均余命は男性22年(87歳)、女性27年(92歳) 老後はお金の心配をせずに暮らしたいものです。その間、予測可能な経済変動があり、思わぬケガや病気もあります。
- 2 こんなにかかる老後生活(現金支出で年額286万円) 高齢農家世帯(世帯主が65歳以上の夫婦2人)の家計費は、現金支出で月額約23万8千円です。(総務省家計調査などより)
- 3 国民年金の支給額(夫婦で年額158万円) 農業者皆さんが加入している国民年金の支給額は、40年加入で月額約6万5千円、夫婦あわせて月額約13万円です。

終身年金で80歳までの保証つきです。

公的年金ならではの税制上の優遇措置があります。

認定農業者など担い手を対象に保険料の国庫補助があります。



農業者年金の受給額は

保険料を月額2万円とした場合の農業者年金の支給額の試算

加入年齢	納付期間	性別	年金額(年額)	
			運用利率2.5%	運用利率3%
20歳	40年	男性	約79万円	約87万円
		女性	約66万円	約73万円
30歳	30年	男性	約52万円	約56万円
		女性	約44万円	約47万円
40歳	20年	男性	約31万円	約33万円
		女性	約26万円	約27万円
50歳	10年	男性	約14万円	約14万円
		女性	約12万円	約12万円

若い時ならお一人の加入で、ある年齢からは夫婦2人の加入で、厚生年金並みや老後生活の安定に役立つ金額が見込めます。

(注)この試算は、通常加入で保険料月額2万円を加入し、65歳までの運用利率が2.5%及び3%、65歳以降の予定利率が0.50%となった場合の試算です。

加入の申し込み・相談はJA・農業委員会へ 資金業務課 TEL:024-554-5508 JA福島中央会 組織農政部 TEL:024-554-3037

2018年

農業資材商品説明会のご案内

平成30年
日時 **1月25日(木)** 午前9時30分～午後4時
26日(金) 午前9時30分～午後3時

場所 伊達市「ふるさと会館 MDDホール」

肥料や農薬などのメーカーが一堂に集まり、肥料、農薬などの農業資材の新商品や新技術などを紹介!! 講習会もありますので、皆様のご参加をお待ちしております。

昨年度参加メーカー

- ◎肥料 片倉コープアグリ・ジェイカムアグリ・サンアグロ・セントラル化成 など13社
- ◎農薬 協友アグリ・バイエルクロップサイエンス・BASFジャパン・北興化学 など16社
- ◎種苗 福島天香園・カネコ種苗・ときわ研究場・タキイ種苗
- ◎資材 みかど化工・東都興業・三菱樹脂アグリドリーム・シモジマ など38社

農中信託銀行

JAふくしま未来

遺言信託

～管理コース～

■財産に関する遺言書作成のお手伝いを致します。

■遺言は円滑な相続のお役に立ちます。

○次のような方々に遺言がお役に立ちます

作成された遺言書は責任をもって農中信託銀行がお預かりをし、相続開始時には確実にご指定の方にお引き渡します。

- 農業後継者など跡取りの方に多く相続させたい方
- 相続争いを未然に防ぎ、円滑に遺産分割を済ませたい方
- お借入のある方
- お子さまのいないご夫婦

- ① 当JAが行う遺言信託代理業務は、契約締結の媒介です。
- ② ご利用には、所定の手数料・諸費用が必要です。
- ③ 農中信託銀行は、身分に関する事項はお取り扱いできません。
- ④ 農中信託銀行がお取り扱いするのは、公正証書遺言だけです。

お問い合わせ先 推進部資産管理課 024-573-1247

原町郵便局より大切なお知らせ 住所変更しましたか…？

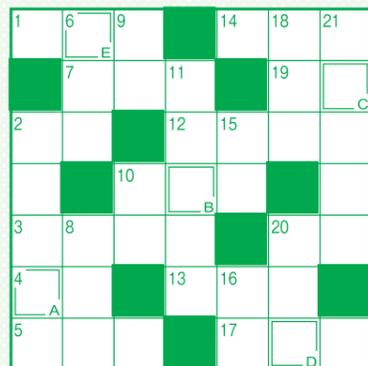
震災後、「お客さま確認シート（避難先届）」の提出により、JAカード等の転送不要の取扱いも可能にまいりましたが、この度、当局では「お客さま確認シート（避難先届）」での取扱いを終了し、通常の「転居届」を提出していただくようになります。一般の郵便物は転送先へ配達いただけますが、JAカード等の転送不要の郵便物については転送されず差出人様へ返送となります。

身分証明書（免許証等）の住所変更していない方、現住所への住所変更手続きをしていない方、貯金口座のある各店舗へ来店されます様、宜しくお願ひ致します。

尚、転送に関する詳しい内容につきましては、最寄りの郵便局へお問い合わせいただきます様、重ねてお願ひ致します。

クロスワードパズル

二重マスの文字をA~Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？



タテのカギ

- ②友人の結婚をみんなで——した
- ⑥魚の下ごしらえの際に取ることも
- ⑧将棋に似た西洋のゲーム
- ⑨五輪で1位の選手がもらうメダルの色
- ⑩温めた豆乳から引き上げます
- ⑪アルバイトの面接を受ける際、書いて持っていくことも
- ⑮ドストエフスキーの著書『——と罰』
- ⑯寒い日にはポツと赤くなる人も
- ⑰ポルトと組み合わせ使います
- ⑲セーフの対義語
- ⑳模試では合格の——が80%だった

ヨコのカギ

- ①2018年の——五輪は平昌で行われます
- ②力士が踏むもの
- ③ツルのものは長く、カモのものは平たい
- ④尺八やフルートはこの仲間
- ⑤医師に処方してもらうものの一つ
- ⑦ずいぶんと——が飛躍しているなあ
- ⑩銀世界を眺めて楽しむこと
- ⑫日本——が寒波に覆われた
- ⑬スマホで明日の天気——を調べた
- ⑭漢字で書くと最中。あんの入った和菓子です
- ⑰桃太郎の場合は犬・猿・キジ
- ⑱鬼の頭に生えています
- ⑳バレンタインの本命チョコに込めます

答え A B C D E

応募方法

官製ハガキに、①パズルの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号 ⑧JAや広報誌に関するご意見、ご要望、地域の話題等を記入の上、下記の宛て先までご応募ください。

宛て先

〒960-0185 福島県福島市北矢野目字原田東 1-1
JAふくしま未来「広報誌クロスワードパズル」係

締め切り

平成30年 1月22日(月)必着

※記載された個人情報、賞品の発送以外の目的には使用いたしません。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

先月号の答え



たくさんのご応募ありがとうございました。
正解者の中から抽選で「みらいるオリジナルグッズ」を10名様にお送りさせていただきます。



JAふくしま未来オリジナルキャラクター きゅうり之介

JAふくしま未来の概要

平成29年11月末現在		事業実績	
組合員数(正)	46,510人	購買品供給高	12,915百万円
(准)	47,885人	販売品販売高	20,794百万円
役員数	55人	貯金高	718,537百万円
監事	8人	貸付金高	158,606百万円
職員数	1,412人	長期共済保有高	2,702,427百万円
准職員数	354人		
出資金	16,231百万円		

編集後記

新年を迎え、1月も中旬となりました。今年は戌年ということで特集ページは各地区のワンコを集めました。今年は犬に負けないうらい取材で走りまわり、地域の皆様との交流を増やしていきたいです。今年もよろしくお願ひします。 羽賀

理事会報告

第10回理事会 日時▶平成29年11月30日(木)午後1時30分
場所▶JA福島ビル10階 1001会議室

- 協議事項
- 議案第1号 信用事業事務取扱手数料徴収基準の一部改正について
- 議案第2号 理事会承認貸付金について
- 議案第3号 子会社(JA共同施設株)の固定資産取得について
- 議案第4号 新地スマートエナジー株式会社設立に伴う出資および役員候補者選出について
- 議案第5号 公印管理規程の一部改正について
- 議案第6号 平成29年度年末賞与の支給について
- 議案第7号 JAふくしま未来不祥事再発防止策(兼整備計画)の設定について
- 議案第8号 役員責任調査委員会の設置について

全地区

「あんぼ柿まつり」開催

1月20日(土)21日(日)は管内の直売所各店舗で「あんぼ柿まつり」を開催します!!

店舗ごとにオリジナルイベントを実施しますので、皆様のご来店お待ちしております!



福島地区

花卉新規栽培者募集説明会

- 1月23日(火) 午前10時~ 北信支店2階小会議室
午後 2時~ 福島南支店2階小会議室
- 1月24日(水) 午前10時~ 吾妻宮農センター2階会議室
午後 2時~ 松川宮農センター2階小会議室
- 1月25日(木) 午前10時~ 川俣資材店2階小会議室
午後 2時~ 山木屋支店2階大会議室

福島地区

野菜栽培指導会のお知らせ

- ★今月の内容★ ①春まき野菜の品種及び栽培のポイント
②春まき野菜の種子、苗の注文について

- 1月31日(水) 午前10時30分~ 北信支店会議室
午後 2時~ 川俣飯野宮農センター会議室
 - 2月 1日(木) 午前10時30分~ 福島南支店会議室
午後 2時~ 庭塚地区活性化センター会議室
 - 2月 2日(金) 午前10時30分~ 松川宮農センター会議室
午後 2時~ 立子山地区活性化センター会議室
- ※最寄りの会場へお越し下さい。

安達地区

きものフェスタ2018開催

- 日時 1月26日(金)、27日(土)、28日(日)
 - 場所 二本松支店 (二本松市成田町1-821-1)
- 2018年新作振袖を展示、販売いたします。今回は10周年を記念して、特別価格の商品もございます。また、ご来場記念特典や運試し抽選会もありますので、皆様のご来場お待ちしております。
- お問い合わせ 安達地区本部経済課 0243-33-2737

そうま地区

決算！大展示会



- 日時 2月3日(土)4日(日) 午前9時~午後3時
- 場所 ㈱マックスサービスそうま相馬自動車センター
相馬市馬場野字雨田162
- お問い合わせ TEL 0244-36-5544 / FAX 0244-35-6468

そうま地区

第2回JAふくしま未来そうま地区生活文化活動発表会開催のお知らせ

当JAそうま地区では、管内で生活文化活動に取り組む団体を対象に「第2回JAふくしま未来そうま地区生活文化発表会」を開催します。

当日は、家の光記事活用発表や大正琴、踊り、つるし雛等を展示します。

入場は無料で、どなたでもご覧いただくことができます。是非ご来場いただきお楽しみください。

作品展示 1月29日(月)~2月4日(日)
(午前9時~午後4時 最終日は午後2時まで)

発表会 2月4日(日)午前9時30分~
午前の部 家の光記事活用発表・大正琴発表
午後の部 踊りなど

会場 相馬中村総合研修センター
(相馬市馬場野字岩穴前198)

※昼食が必要な方は事前に、お近くの購買窓口またはそうま地区本部地域支援課までお申し込みください。(お弁当代300円)

お問い合わせ先
そうま地区地域支援課 TEL 0244-67-2551

伊達地区

法要展示・予約会 開催

- 日時 2月4日(日) 午前9時~午後4時
- 場所 みらいホール保原(保原町字下野崎5-1)
- 内容 料理・引物・引菓子
- 特典 来場記念品・ご成約プレゼント



農のある風景

～福島市立子山～

立子山の冬の風物詩 凍み豆腐作り

福島地区の立子山では特産の凍み豆腐作りが最盛期を迎えています。

凍み豆腐は凍らせた豆腐を藁で1つ1つ編み上げ、それらを竿に吊るし天日で1週間ほど干して出来上がります。この作業は12月から3月まで続きます。

干し場にずらりと並んだ凍み豆腐は吾妻山から吹き降ろす冷風によって旨味を凝縮させ、皆さんの手に届くのを待ちわびています。